

※ 数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

概 要

- 11日(水)から日本付近に停滞している前線により、向こう一週間程度は西日本から北日本にかけ広い範囲で大雨が継続するおそれ。
- 九州北部地方では、断続的に非常に激しい雨が降って記録的な大雨となっている所がある。今後も、西日本から北日本の広い範囲で大雨となる見込み。
- 13日(金)に内閣総理大臣指示が発出。これを踏まえ同日、防衛大臣の指示を発出。

<防衛大臣の指示の概要>

- ・早急に被害状況を把握できるよう、関係府省庁及び自治体と緊密に連携し、情報収集に努めること。
- ・被害が発生した場合に備えて、あらゆる手段を活用した情報収集活動を実施するとともに、人命救助を第一義とした救援活動の準備に万全を期すこと。

防衛省・自衛隊の対応

1 連絡員（LO）の派遣

福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、広島県及び愛知県の47箇所の自治体等に対し約110名の連絡員を派遣。

2 情報収集活動

陸上自衛隊西部方面隊及び中部方面隊において、情報収集及び映像伝送を行うためのヘリコプター（UH-1）×合計4機が待機中。

3 初動対応部隊

陸上自衛隊西部方面隊において約730名、中部方面隊において約170名が初動対応のため待機中。

長崎県雲仙市における災害派遣活動

- 13日(金)未明に長崎市雲仙市において発生した土砂崩れに関し、13日(金)1545、陸上自衛隊第16普通科連隊長(大村)は、長崎県知事から安否不明者の人命救助に係る災害派遣要請を受理。
- 14日(土)早朝より、第16普通科連隊及び航空自衛隊第8航空団(築城)は、約70名の態勢をもって、被災現場に小型ショベルドーザ×1両及び救助犬×2頭を投入し、警察・消防と連携して人命救助活動を開始。

位置関係図

空自第8航空団
(築城)

陸自第16普通科連隊
(大村)

